

「ちさと防災フェスタ 2018」開催企画書

■背景

新規転入者及びアパート世帯の増加により、行政区への加入率低下や居住地域内行事への参加減少が見られ、地域内交流の希薄化に繋がっている。

特に行政区に加入しない世帯は、災害時における避難場所の認識や情報収集手段など被災生活を送る上で懸念となっている。

また、各自主防災会による訓練が毎年8月に実施されているも指定避難所における運営の方法や備えについて情報共有及び検討がされていない。

■目的

- ・防災意識向上を図る。
- ・避難所生活を送るために、事前の地域交流の大切さを学ぶ。
- ・避難所運営は地域の方の協力が不可欠（自助・共助・公助）

■ねらい

- ・個々の防災意識向上を図り、各区の避難場所を知ると同時に家族と地域を繋げる。
- ・災害時における各行政区連携した活動展開
- ・備品整備・備蓄状況の情報共有
- ・企画を契機に千郷地域連携した活動部隊や団体等の立ち上げ

■概要

「ちさと防災フェア2018」

日時：平成30年12月2日（日） 開始9時30分～終了12時00分

場所：千郷小学校体育館 及び グラウンド（雨天：体育館）

対象：千郷地域在住の地域住民

開催内容（案）

- (1)中学校被災地交流の発表・少年防火クラブ等の展示ほか（千郷中学校）
- (2)家までスゴロク（日本赤十字社）
- (3)炊き出し展示（日本赤十字社・若者防災の会「禰」）
- (4)消防団PR（新城市消防団千郷分団）
- (5)防災講演（千郷地区防災連絡会 会長）
- (6)煙道体験（消防署・若者防災の会「禰」）
- (7)AED講習会（はくるまの会・防災安全課・消防団）
- (8)簡易避難所展示（防災安全課・若者防災の会「禰」・市民病院）
- (9)その他

実施主体：企画部 千郷自治振興事務所（千郷自治振興事務所）・千郷地区防災連絡会

協力者：市防災安全課・千郷小学校・千郷中学校・自主防災会・各区防災委員ほか（はぐるまの会）
若者防災の会「禰」・日本赤十字社・新城市消防団千郷分団・消防本部・市民病院

運営体制：千郷地区防災連絡会

■ イベント告知・周知方法

- ① 11月1日（木）の区長発送文書にて各地区への回覧
- ② 市ホームページ、ブログ（地域活動応援ブログ）等の SNS
- ③ 千郷地域の各会議、打合せ会等の場において、開催説明及びチラシ配布
- ④ 拠点施設への掲示及び千郷地域内の商店等への掲示依頼
- ⑤ 千郷小・中学校からのお便り等とあわせてチラシ配布
- ⑥ 各種団体等へのダイレクトメール
- ⑦ その他

■ 現時点における本会員団体以外の参加呼び掛け団体等

- (1) 千郷小・中学校 PTA 役員
- (2) 千郷地域子育て連絡協議会
- (3) 千郷地区老人クラブ
- (4) 千郷東・中・西こども園保護者会役員
- (5) 千郷地区体育振興会役員
- (6) 千郷青パト隊
- (7) 千郷財産区管理会
- (8) 千郷地区交通安全協議会
- (9) 西部地区公民館連合会
- (10) 千郷地域協議会委員
- (11) 新城市消防団第1方面隊千郷分団第1・2・3班団員 ほか

■ 催し物の詳細内容と主担当団体等

	実施項目	実施主団体	実施内容（予定）
①	中学校被災地派遣交流報告・展示	●千郷中学校 顧問教師、派遣生徒	本年度被災地へ行き現地で感じた事や交流の様子について中学生生徒より報告。
②	AED講習	●はぐるまの会	基本的な知識や使用方法（心配慥生・使用上の注意点等）を訓練用人形や AED を使用し学ぶ。
③	家までスゴロク	●新城市赤十字奉仕団	ゲーム形式で楽しく防災について学ぶ。
④	炊き出し展示	●新城市赤十字奉仕団	実際の避難所等での炊き出しを想定し、ハソリによりお米を炊飯し、サランラップ等により「おにぎり」を作る。
⑤	防災講話	●（講師）千郷地区防災連絡会会長 今泉保和	一口に防災といっても地域性があるため、千郷地域にあった具体的な防災のお話し。
⑥	煙道体験	●消防本部 予防課	実際の小学校の教室をお借りし、リアルな煙道を実体験していただき、火事場における避難方法及び注意点等を学ぶ。
⑦	避難所展示	●市役所 防災安全課	大災害等を想定した簡易避難所を実際に設置し、避難所で想定される一家族に与えられるスペースや避難等に必要である物などの確認や説明。
⑧	その他（1）	●自治振興課	AED、防災、災害等に関する資料やパンフレット展示